

相談支援連絡調整全体会議での検討事項の報告

相談支援連絡調整会議事務局
障害者相談支援推進センター

○プロジェクトチームの立ち上げについて

1 趣旨と経過

平成 24 年度第 1 回の自立支援協議会にて、地域課題の協議について現行の協議体系を継続し、必要に応じて「プロジェクトチーム」を作り、行政区を跨いだ横断的で専門的な検討・協議を実施することで課題解決機能の強化を図っていくと示したところである。

昨年度から今年度にかけて各区の事務局会議等で掘り起こされた地域課題について、検討が長期化している、テーマを絞った効率的な協議・検討ができていない等、各区の事務局単位での協議・検討が解決に結びついていない傾向にあるため、早急な解決を図るためにプロジェクトチームの設立を検討していきたい。

参考に、現在プロジェクトチーム的に動いてる地域課題は以下に示すとおりである。

(1) 身体障害のある人の移動支援の対象拡大について

構成員：障害者福祉課、相談支援事業所（主に身体）3 か所、障害者協会

(2) 特別支援学校への通学に係る支援について

構成員：障害者福祉課、相談支援事業所、障害者協会、県教育委員会、
特別支援学校

2 これまでに各区連絡調整会議等を通して掘り起こされた課題

- (1) 居宅介護、移動支援等に従事するヘルパーの不足
- (2) 緊急時の施設入所や短期入所の利用について（虐待や触法障がい者への対応）
- (3) 行動援護の充実（強度行動障害のある人への支援）
- (4) 介護者が高齢の方の支援について
- (5) 重症心身障がい児(者)への支援の充実

3 プロジェクトチームの設立にあたり

プロジェクトチームを作るにあたっては、具体的な課題について集中的、効果的に協議を実施していくために、期限を区切って協議を実施していきたい。

また、その協議の進捗状況等については、連絡調整全体会議及び自立支援協議会に報告するものとする。

4 今後具体的に検討していきたい課題について

課 題：外出支援等の人材不足

目 的：移動支援や行動援護等障がい者の外出を支援するサービスに従事できる職員を市独自に養成することで外出支援サービスの充実を図る。

構成員：障害者協会、障害者福祉課、サービス提供事業者、当事者団体（利用者保護者等）、学識経験者など 10 名程度